

行事部主催 **施設見学研修**＜8／25（金）実施＞（報告）

今年度は、大阪府立たまがわ高等支援学校を研修先を選びました。たまがわ高等支援学校は、近鉄奈良線河内花園駅の北約1キロメートルに位置し、今年度4月より、旧府立玉川高等学校の再編整備の結果誕生した、「新しいタイプの学校であり、府民の熱い期待を担ったパイロット的な学校」（たまがわ高等支援学校ホームページより）です。本見学研修には、100名を越える応募を頂いたのですが、今回の研修では、事前に体験実習をお願いしていたため、人数を48名に限定せざるを得ませんでした。せっかく応募していただいたにも関わらず、抽選に漏れてしまわれた方には、ご迷惑をおかけしました。行事部としては、来年度も再度たまがわ高等支援学校への見学研修を企画・提案する形で、抽選に漏れてしまわれた方々のご期待に沿えるよう、次期府養研役員に引き継ぎたいと考えています。研修会当日は、天候にも恵まれ、集合時間の約30分前から、多くの方が次々と高等支援学校の校門をくぐられていました。

＜たまがわ高等支援学校側からの概要説明＞

学校に到着後、体験実習の前に、教頭先生より学校の概略について、説明して頂きました。また、体験実習終了後も参加者からの質問に答える形で学校の現状等について、追加の説明を頂きました。以下、その内容の概要を紹介させていただきます。

今年度、募集人数48名に対して67名の受検がありました（府立枚岡樟風高等学校内の共生推進教室生2名は別枠募集）。合格者48名のうち6名は養護学校から、他の42名は中学校（養護学級在籍）からの生徒です。男女の人数は男子37名、女子11名（共生推進教室は男子2名）で、男女比は固定していません。現在通学している生徒たちの約半数は1時間以上をかけて通学しています。選抜の基準及び適性検査の内容等については、各中学校に配布されている「入学者選抜実施要項」（※）、（府教委障害教育課より各市町教委宛に送付され、各市町教委より各中学校に配布されている）「平成18年度大阪府立たまがわ高等支援学校入学者選抜における適性検査の問題について」等をご覧ください。

1年間にかかる諸経費は、実習費が年間数万円かかる以外は、他の養護学校とほぼ同じです。

たまがわ高等支援学校の教育目標は「心豊かな人間の育成を図り、就労を通じた潤いのある社会的自立をめざす生徒を育成する」ことにあります。この目標を達成するため、3つの学科（「ものづくり科」「福祉・園芸科」「流通サービス科」）とそれぞれの学科に2つずつの専門分野（「ものづくり科」＝産業基礎、食品生産、「福祉・園芸科」＝福祉、園芸、「流通サービス科」＝オフィスサービス、バックヤードサービス）が設置されています。また、全員が学習する職業に関する共通の専門教科（清掃・後片付け、販売）もあります。1週間の授業時数（合計30時間）の内訳は、これら職業に関する専門教科（学科別、11時間）と共通の専門教科（2時間）で合計13時間、他は一般教科の15時間と特別活動、道徳、自立活動の2時間です。いずれの専門教科においても働く意欲をどう育てるかを共通目標にしています。

現在の1年生は、ローテーションで3つの学科を全て経験し、2学期の中ごろまでにはどの学科に所属するかを決めることとなります。学科をいったん決めた後は、学科の変更は出来ません。

また、本校では就労を通じた社会的自立を目指す上で、実際の職場を体験することが極めて重要です。そのため、この夏休みに全教員が分担して、約300社を回り、11月の職業体験実習先を開拓しました。おかげで何とか全員が実習（5日間）できるようになりました。来年度は、生徒たちが広域から通学していることもあり、可能なかぎり自宅近くで職業体験実習ができるよう、実習受け入れ先の開拓に向けて、一層努力していきたいと考えています。

現在、クラブ活動はスポーツ（球技、陸上、バドミントンやバスケットボール等のレクリエーション）、格技（剣道）、音楽（合奏、合唱など）の3つのクラブがあり、希望する生徒がそれぞれのクラブで活動しています。

※平成19年度の入学者選抜については、「たまがわ高等支援学校入学者選抜実施要項」が10月末頃に発行される予定です。

学校の概要について説明頂いた後、6つのグループに分かれ（人数を均等にする必要があったため、行事部の方で事前にグループ分けさせていただきました）、食品生産（ものづくり科、1グループ）、オフィスサービス（流通サービス科、1グループ）、バックヤードサービス（流通サービス科、1グループ）、清掃実習（共通科目、3グループ）の実習をさせていただきました。以下、それぞれの実習に参加した行事部役員からの報告を掲載させていただきます。

<食品生産の実習について>

食品の8人は、クッキー作りの実習を行いました。頭に帽子をかぶり、丁寧に手を殺菌し、最新のオーブンの機械を使って、生徒がやるのと同じように、粉をこねるところから、原料を絞り出し、焼き上げるまでを実習させていただきました。無事クッキーを作ることが出来ました。また、これから実習予定の、ビニールでのパッキングの機械なども紹介いただきました。

実際、生徒を前にした指導面では、同じ厚さで、鉄板の上に円を描くのが難しいとのことで、黒板に丁寧なイラストを使ったマニュアルの提示などで、きめの細かい先生方の配慮を感じ取ることが出来ました。府内の高校でも、最新の機械を導入した設備で、最高のスタッフの中で指導がなされていることが良く理解できる実習でした。



<オフィスサービスの実習について>

オフィスサービスは、ビジネスの現場で必要なマナー（簡単なものは挨拶から）や技術を身につけることを目指します。また倉庫（在庫管理等）や印刷の実習があります。授業は生徒8名で、教職員2～3名が担当しています。コン

コンピュータを利用する授業では、実際の就労に必要な情報機器に関する技能はどのようなものであるか常に念頭におきながら授業を行っているとのこと。また、生徒たちの発達段階に応じた教材を一から準備することの大切さと大変さを具体例を交えて説明していただきました。



実習は、グラフィックソフト「アドビ・イラストレーター」(コンピュータの機種は、Mac)を使ってハートの形を描き、6種類の色付けをするという作業でした。生徒たちが1学期の授業で実際に使ったプリント教材を参照しながら実習に取り組みました。コンピュータ操作の手順が、ワンステップずつ、わかりやすく表示(それぞれの操作で

コンピュータ上に現れる画面が表示)されていて、中学校の情報の授業に、すぐにでも取り入れたいような出来栄の教材でした。教材作りには、大変な時間がかかるということで、教科書等がない中で、生徒たちの発達段階を考慮しながら、教材を一から作り上げる大変さを実感させられた実習でした。

<バックヤードサービスの実習について>

「バックヤードサービス」では、飲食業やホテルの客室清掃、ベッドメイキング等を学ぶ学科で、生徒8名、担当者3名で授業を行っています。食器を食器洗い機に入れる、調理器具を洗う、生ゴミの選別などを行う調理系、ホテルのベッドメイキングや部屋の掃除を行うハウスキーピング系、パーティー会場等のセッティングや片づけを行うバンケットサービス系の3種類があり、洗車サービス(手洗い洗車)も予定されています。これらの仕事を責任をもってやりとげることを目標に取り組んでいます。

今回の体験実習では、調理系で最も重要なことは衛生観念であり、「手を洗う」ということを重点に体験させていただきました。

まず、手の汚れを目で確認するために、手の平や甲に糊状のでんぷんをつけてから水で洗い流します。手を乾かした後、イソジン液をかけると洗い残されたでんぷんがくっきりと紫色に色づき、汚れとして確認することが出来ました。洗ったつもりでも汚れが残っていることがよくわかりました。その後、一厨房に入る前に(イラストのついた簡単な指示文で①身だしなみのチェック：5項目、②手洗い：13項目、③エアシャワー：2項目、④消毒液の入ったマット踏み：1項目、までの手順が示されたもの)の手順にそって「手洗い」の実習を行いました。「手を洗う」ということは基本ですが、雑菌を厨房にもちこまないための「手洗い」の難しさを実感しました。



<清掃実習について>

階段清掃と廊下清掃の2つのグループに分かれ、「プロの清掃」（お金を頂ける清掃）の実習をしました。モップの絞り方から始まり、ほうき、ダストモップ、ワントッチモップ、塵取りの使い方、使う順番、姿勢など、細かく教えていただきました。



<各学科の見学>

体験実習の後、体験できなかった学科の実習場所を、グループに分かれて見学させていただきました。その際、各学科の担当の先生から、学科の特色等について詳しく説明していただきました。



<研修参加者の感想（一部）>

以下、当日施設見学研修に参加していただいた方々の感想を掲載させていただきます。多くの参加者の方々から感想を頂いたのですが、スペースの関係で全て掲載できなかった点、おわび申し上げます。なお、一部文言を変更させていただいた場合もありますのが、ご了承下さい。

・本格的な設備の中で、とても本格的な指導をされているのだなあ、と思いました。養護学校と比べて職業につくということを強く念頭において創られた学校なのだなあ、と感じました。初めての試みなので、今後どのような学校になっていくのか、目が離せないと思います。実際に就職となると大変難しいと思いますが、がんばっていただいて道を開いて頂きたいです。養護学級の担任としてはとても期待しております。

・先生方が、いかに生徒たちを就労につなげるかということに的を絞って工夫され、苦労されているということが伺えました。こんな学校がもっと増えてくれることを願います。

・今回のようなタイムリーな研修であれば、研修の応募者も自然と足が運びます。また、実習まで用意していただき、その中で生徒たちの授業の様子も伝えていただき、とてもよかったです。

・掃除の実習をさせて頂き、すごく参考になりました。雑巾の絞り方、階段のふき方、ごみの集め方など通常学級の生徒にも必要な内容で、すぐにでも活用できそうです。他の実習内容も少しだけでも体験したいと思いました。

・たまがわ高等支援学校の施設・設備を見学させていただき、色々と参考になりました。もっと時間をかけて各担当の先生方からお話を伺いたかった部分も

ありましたが、この点については来年度も同じ企画が必要かと思いました。また、実習後の参加者からの質問に丁寧に答えていただき、御礼申し上げます。

・とても参考になりました。知的障害といっても障害の程度の幅は広く、その中でも「レベルの高い子」が通っているのかなと感じました。(私が)担当している生徒が軽度自閉症で、受検・合格できるのかなあ、と不安も感じました。まとめ学習で子どもに感想を書かせるのを見て、「感想かあ…」と不安になりました。通学等課題が沢山ありますが、就労を目的としたカリキュラム内容がしっかりしているので、是非保護者にすすめたいと感じています。

・とてもきれいな学校で、びっくりさせられました。学校の説明はビデオ等も使い、わかりやすいものでした。実習体験では清掃分野で、考えられた清掃方法に感心させられました。生徒と同じ体験をし、よかったと思っています。

・研修の流れが、はっきりわからず見通しがつかなかったのが残念です。体験も希望ではなく、ふりわけであったので、事前にお知らせいただいた方がよかったと思います。

・社会への自立に向けての経験を多く取り入れてやろうとされているのがわかりました。まだこれからですので、就職とか考えると不安もあります。各市に1つずつ開校できるといいですね。

・実習はそれなりによかったが、実習よりもこの学校の生徒の様子、学校運営や、スタートに向けての苦労、今後の展望などをもっと聞くことが出来たらよかった。その時間が少なかったのが残念です。

・2年前訪れたときには学校全体がボロボロで1年半後に開校できるのか心配していましたが、全体的にスッキリしていて驚きました。清掃体験は初めてのことばかりで戸惑いましたが、良い体験になりました。各実習室には色々な工夫がなされていて楽しく見させてもらいました。

・とてもきれいで充実した施設、設備で、環境が整っていて、すごいなあと思いました。障害のある生徒の最大の悩みは就職する(仕事につく)ことであると親御さんから常々聞かされていますので、この学校に入学した生徒たちの3年間の体験は、大きなものになることと思います。ただ、通学の問題等を考えると、(この学校を)選択できる生徒は限られてしまうかな、という気もします。

・不登校気味であった生徒が、(この学校に進学してからは)「ずっと休んでいない。カゼで1回だけ休んだけど」と言って、喜んで通学しているという話を聞きました。やはり、わかりやすく丁寧な魅力ある指導によるためだと思います。

・丁寧な説明に加えて実習体験をさせていただき、有り難うございました。バックヤードの実習を体験させていただく中で、1人ひとり、ポイントをおさえての指導がなされ、先生方の生徒たちへの姿勢を感じさせていただきました。進行係の先生方も研修内容の見通しが持てるような説明をされ、個々に気を配っておられる様子が伺えました。各見学場面の先生方の説明もポイントを押さえておられたように思います。心より感謝申し上げます。

・今回参加させて頂いて本当によかったです。施設の見学だけでなく、授業の体験が出来たのでより具体的に普段の学校生活が想像できました。説明も詳しくさせていただいて参考になりました。この研修を企画していただいて有り難うございました。生徒や保護者の方にも伝えたいと思います。

・説明の際、ビデオを見ながらの説明でしたのでよくわかりました。実際さながらの設備が整っており、体験学習を通して経験を積むことができるので、抵抗無く職に就けるのではないかと思います。作業は、清掃グループでしたが、掃き方、モップの使い方等々、細かいところまでわかりやすく指導していただきました。現場に戻り、子どもたちにも再度ほうきの扱い方、ぞうきんの絞り方等教えていきたいと思います。

・清掃方法にここまでマニュアルがあるとは思っていませんでした。スウィングしながらやると美しくなるうえに楽しくなりそうです。TDL（東京デズニランド？）の清掃を目指して活動するのもいいかもしれません。

・施設等について詳しく見学できてよかったです。今まで、知的障害の中学卒業以後の進路が、養護学校高等部以外にあまりなかったのも、高等支援学校の取り組みが実績を上げていくことを期待しています。

・設備、広さ等充実していると思いました。新設での良い点は沢山ありますが、一期生の進路指導の難しさを予想してしまいました。専門教科、実習に重点を置きつつ、高校生であるため、一般教科も指導しなければならないだろうし…。生徒はほぼ全員登校できていることから推測できるように、皆楽しく通学できていることがすごいですね。卒業生の多くが社会性を身につけ、働く喜びを感じ、自立していつてくれることを期待したいと思います。

・現在小学校6年生の男子児童の進路について悩んでいます。将来の就労の参考として、ビデオによる説明や清掃体験の内容等を保護者にも話してみたいと思います。

・将来を見通し、また常に就労を意識した教育課程に感心しました。今回は清掃体験しかさせてもらえなかったのも、次の機会を楽しみにしています。今年度スタートということで、ひとつひとつ積み上げていく大変さを感じました。施設・設備に恵まれ、内容の充実に注目されている点、大変でしょうが、がんばって下さい。

・実際に手を洗う実習があり、ヨード液につけて汚れ具合を目にしたり、授業を受ける生徒と多分同じ驚きやさっぱりした気分を味わって面白かったです。次は生徒がどのような説明でどう理解し、どう動いていくのかを実際の授業の場で見学したいと思いました。どのような生徒が学んでいるか大変関心がありますが、先生方がどのように支援されているかということも学びたいと思っています。

以上、今年度行事部主催の施設見学研修の報告とさせていただきます。府立たまがわ高等支援学校の先生方、当日はお忙しい中、府養研施設見学研修のためにお時間を割いていただき、本当に有り難うございました。末尾ながらお礼申し上げます。

文責 行事部 吉野 猛（箕面市立第二中学校）